

2004年新潟県中越地震地震断層出現域における重力探査

Gravity investigation across the surface rupture associated with the 2004 Mid-Niigata Prefecture Earthquake, central Japan

戸田 茂[1]; 鈴木 規眞[2]

Shigeru Toda[1]; Norimasa Suzuki[2]

[1] 愛教大・地学; [2] 愛教大・理科教育

[1] Earth Sci., AUE; [2] Education of Sci., Aichi Education Univ

2004年10月23日に新潟県中越地方を震源とするマグニチュード6.8の地震が発生した。その直後から現地地形調査が実施され、産業技術研究所活断層センターのグループにより六日町断層とその延長部に断続的に連続する地表地震断層が報告されている(丸山・他, 2005)。一方、昨年末に震源断層と地表地震断層・地質構造との関連を明らかにするために浅層反射法地震探査が実施された(佐藤・他, 2005)。今回、2004年新潟県中越地震地震断層出現域において100メートル間隔で2測線(合計110点)の重力探査を行い、上述の結果を拘束条件として、六日町断層周辺の密度構造を推定した。